

瀋陽駐在員事務所



お風呂を入れてくれている育児嫂



我が子「和和」とお祖母さん

瀋陽の家政婦ビジネス事情

中国は夫婦共働きの社会ですので、子育てを母親（女性）一人に押し付けず、家族全体の責任で行うというような価値観を持っています。0歳からの家庭保育には、父母のほかに両方の祖父母が熱心に参加することが一般的です。しかし、現代社会の核家族化などに伴って、家政婦も兼ねる住み込みのベビーシッターの雇用が急増しました。

子育てに関する家政婦は「月嫂」と「育児嫂」と分類されます。「月嫂」とは、産後1カ月の産婦と新生児の世話をする専門の家政婦のことです。産婦の食事を作り、哺乳方法を指導し、赤ちゃんの世話を24時間行います。「育児嫂」は、最初の一ヶ月を過ぎた後、幼児の世話や教育面などをサポートする家政婦です。「育児嫂」の場合、勤務時間の設定は利用者の希望に応じることができます。料金は経験や資格などによってそれぞれですが、瀋陽市では「月嫂」の月収は7000~1万人民元、「育児嫂」は2800元（勤務8時間）~8000元（勤務24時間）です。最近、育児ヘルパーの月収は、2004~13年の10年間で4~5倍まで高騰し、いずれも大卒者の初任給を超えているという記事も見受けられます。料金の高騰は、需要に対して家政婦が少ないことが要因です。

最近の報道では、日本政府の経済財政諮問会議が家事や介護分野の外国人人材の受け入れを検討すべきだと提言したそうですが、女性が働きやすい環境を作ることによって、新しいビジネスや商機が生まれてくるのではないかと思います。

張 璐

ユジノサハリンスク駐在員事務所

【サハリンの春の海】～潮干狩り



アニワ湾での潮干狩り



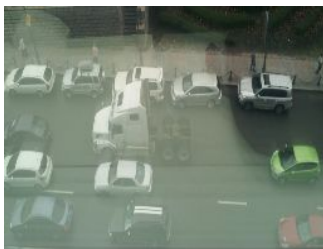
プリプリ新鮮ホッキ貝

今年のサハリンは例年より春の訪れが早く、桜の開花も2週間程度早まりました。好天に恵まれたサハリンの5月の連休にピクニックを兼ねて、ユジノ市から車で1時間程度南に位置するアニワ湾で、ホッキ貝の潮干狩りを楽しみました。場所を適当に選んで、およそ1時間で20個程度の大粒のホッキ貝を獲る事が出来ます。獲ったホッキ貝はそのまま刺身で食べても美味しいですが、今回は「新鮮ホッキ貝のバター醤油焼き」にしていただきました。旨味とぷりぷり食感が絶品で、最高の酒の肴です。ロシアでは日本と違って、ウニ、ホッキ、アサリはいつでもどこでも獲り放題で無料の潮干狩りを楽しむことが出来ます。しかし、最近是我々日本人が見つけたささやかな週末の楽しみが、ロシア人たちにその場所を荒らされています。特に、日本の食文化に精通しているサハリンのロシア人はウニやホッキ貝を好んで食べるようになりました。しかし、水産資源の豊富なサハリンでは春はウニ、昆布、ホッキ、アサリ獲り、夏から秋にかけて、川ではサクラマス、カラフトマスをはじめとするサケマス類を、海ではカレイ、タラ釣りが楽しめます。冬は氷上釣りで、コマイ、キュウリウオ等、一年中我々日本人を楽しませてくれます。

三上 訓人

ウラジオストク駐在員事務所

ウラジオストクの道路事情



市内の大渋滞

北海道を離れて生活をしたことのない生粋の道産子が、当地ウラジオストクで2月より生まれて初めての海外生活を送っております。

何もかもが初めての経験であり、ロシア語や英語を十分に話すことができないため、毎日色々なことと格闘しながら業務や日常生活を繰り広げています。

当地に来て最初に驚いたことは、車の多さです。

朝夕の通勤ラッシュ時や日中は写真のような大渋滞が市内の各所で発生します。市内中心部には駐車場は少なく、ほとんどの車は車道の歩道側に駐車されています。車道の一部がほぼ恒常的に駐車スペースになっていることも渋滞の要因であると思われます。

渋滞が多いことから、朝の出勤、日中の訪問アポイントメントなど、車移動の際は時間に注意が必要です。渋滞と関係があるかはわかりませんが、こちらでは市内中心部には信号機が設置されていますが、中心部から外れると信号機をほとんど見ません。横断歩道にも信号機が併設されていることはなく、たくさんの車が行きかう中を横断しなくてはなりません。ただ、道路を横断する歩行者がいる場合は、車が綺麗に停車してくれますので安全に横断することができます。

伊藤 清平

カシコン銀行

< 色の意味について >

タイにおける「色」は非常に重要な意味を持っています。曜日毎に色が決められており、日（赤）月（黄）火（桃）水（緑）木（オレンジ）金（青）土（紫）となっています。友人の年齢は忘れていても、（曜日の）色は忘れないというくらい、タイ人にとって「色」は重要な意味を持ちます。

現在タイを騒がせているデモ隊の片方である反政府デモ隊（反タクシン派）は通称、黄シャツ隊と言われていますが、この黄色は現国王であられるプミポン国王の誕生日色です。反政府デモ隊は黄色のシャツを着る事で、タイ国内で絶大な人気を誇り、国民からの尊敬を集める国王に対する忠誠を誓っているのです。

一方で赤シャツ隊についても、国王に対する尊敬の念は黄シャツ隊と変わらず抱いているものの、黄シャツ隊に対抗するため、国旗にも使われており、国家や国民を意味する赤を着ることで、国（＝国王）に対する忠誠を誓っているのです。このように、タイ国における色の重要性は日本人の習慣にはないものです。色に対する意味合いを非常に強く持っている国ですので、タイを訪れる際は服装の色に気を遣った方がいいかもしれません。軍による政権掌握（クーデター）下では、なおさら意識した方がいいでしょう。

伊藤 彰浩



タイのデモの様子

